

教育相談における学校心理士の貢献

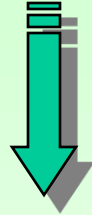
学校心理士と心理教育的援助サービス

学会連合資格「学校心理士」認定運営機構

1

学校心理士資格について

学校心理士



心理教育的援助サービスの専門家

一人ひとりの子どもが学習面，心理・社会面，進路面，健康面における課題への取り組みの過程で出会う問題状況の解決を援助し，子どもが成長することを促進する教育活動である。

心理教育的援助サービスと対象

心理教育的援助サービスは、教師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、保護者らが連携して行われ、すべての子どもを対象とする活動から、特別な援助ニーズをもつ子どもを対象とする活動までが含まれる。

学校心理士の活動内容

① 心理教育的アセスメント

② 直接的援助

カウンセリング・保健室での援助

活動・キャリアガイダンス等

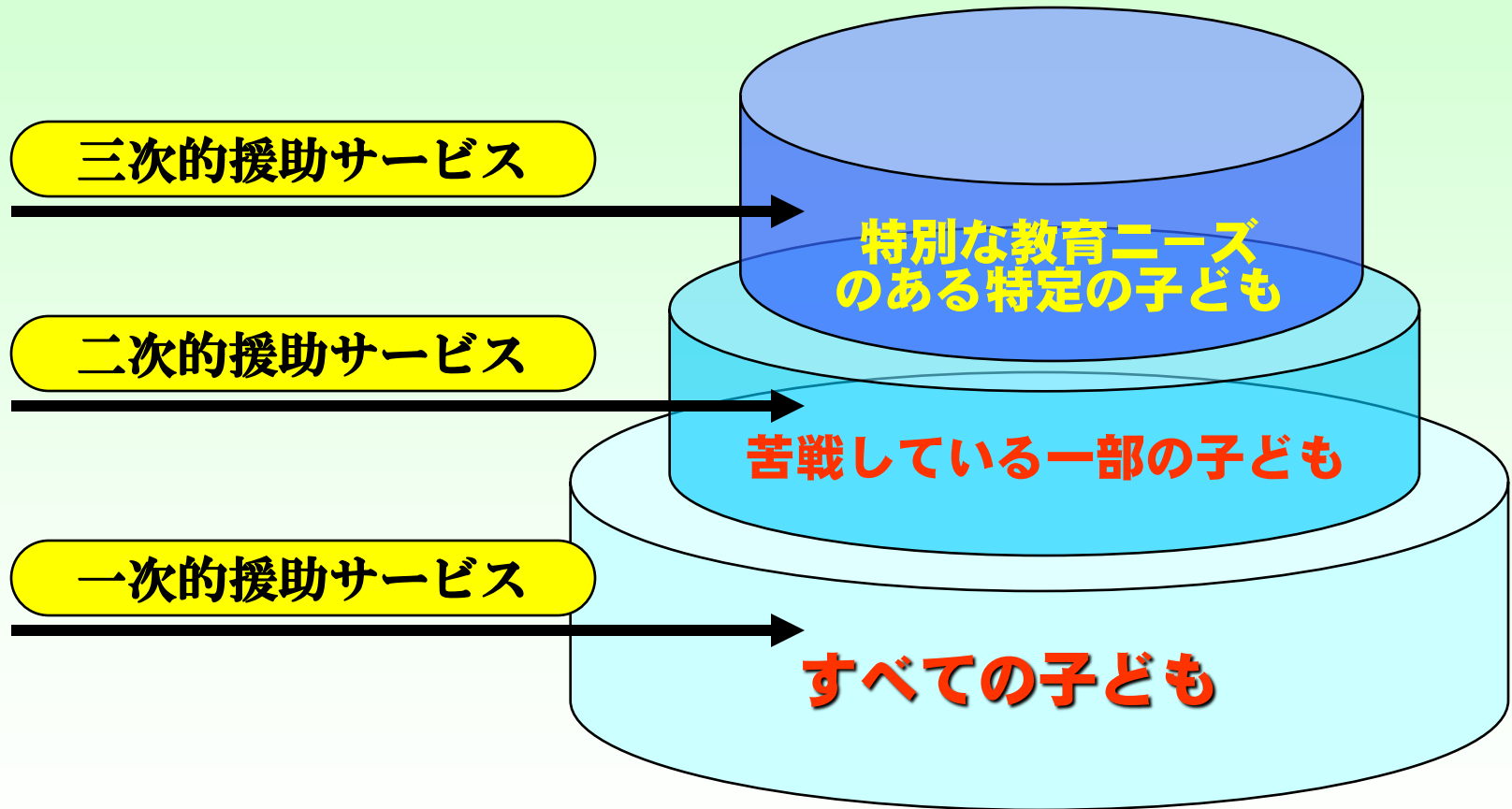
③ 間接的援助

コンサルテーション

コーディネーション

★ チーム援助 ★ サポートチーム・緊急支援チーム

三段階の心理教育的援助サービス



2

学校心理士資格認定

申請条件の5類型

類型 1 ⇒ 大学院学校心理学修学 + 1年専門的実務経験

類型 2 ⇒ 教員として5年の専門的実務経験

類型 3 ⇒ 教育委員会等で専門的実務経験（2～5年）

類型 4 ⇒ 大学等で学校心理学関連の授業担当

類型 5 ⇒ 外国の大学院でスクールサイコロジストなどの資格を有する

審査および更新

- 書類審査

学校心理学 7 科目の履修/専門的実務経験/
推薦状など

- ケースレポート

スーパービジョン付

- 筆記試験

- 5年ごとに更新

研修ポイント 10 以上

3

学校心理士がスクールカウンセラー業務において果たす役割

- ① 学校生活に関わる多様な問題（特別支援教育も含む）に教師・保護者・地域の専門家とチームで対応できる「スクールカウンセラー」として勤務する。
- ② 教育相談や特別支援教育における「コーディネーター」として、学校の心理教育的援助サービスの質の向上のために「スクールカウンセラー」を活用する。
- ③ 教育相談センター等の「相談員」として、スクールカウンセラーと連携して学校を援助する。

4

**スクールカウンセラーとして、学校心理士
がこれまではたしてきた成果や実績等**

小・中学校のスクールカウンセラー

高校のカウンセリングコーディネーター

小学校の特別支援教育コーディネーター

5

教諭，養護教諭，スクールソーシャルワーカー等との連携について

① ボランティア的ヘルパー

自発的に援助する者⇒友人・ボランティアなど

② 役割的ヘルパー

役割として援助する者⇒家族

③ 複合的ヘルパー

専門的職務の一環として援助する者⇒教師など

④ 専門的ヘルパー

援助サービスの専門家⇒スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・医師など

☆コーディネーターが重要

心理教育的援助サービスのシステム

学校経営を支える「運営委員会」

学校レベルの「校内委員会」

一人ひとりのための「援助チーム」

6

学校における教育相談体制の充実の観点から、スクールカウンセラーの配置について改善を図った方が良いと考える点

スクールカウンセラーの活用に関して、「スクールカウンセラー」と「スクールカウンセラーに準ずる者」の区別をなくしていただきたい。

スクールカウンセラーを活用するコーディネーター役として、生徒指導主事・教育相談担当・特別支援教育コーディネーターに、子どもの学校生活の充実をチームで行える専門性をもつ教師（例：学校心理士）をあてていただきたい。

7 国に対しての要望

心理教育的援助サービスの専門性のある教師
(例：学校心理士)を，専任のカウンセラーと
して採用する制度を導入していただきたい。

近い将来，ぜひ「相談教諭（支援教諭）」
(仮称)を導入していただきたい。